

昭和47年1月28日

学生諸君へ

明治大学

## 和泉・生田校舎における乱闘事件 について

1月12日(水)午後0時30分頃より約45分間にわたり和泉校舎構内において生協運営問題等をめぐり確執から生協職員、他大学学生を含む共産同 情況派(主として生田地区)同戦旗派(主として和泉地区)者達約80名による乱闘事件があり数名の負傷者を出した。その際生協の従業員と思われるものが自動車を運転し車ごと戦旗派学生集団に自動車を突っ込み負傷させるという常軌を逸した事態さえも生じている。

翌1月13日(木)早朝 情況派の集団約30名が和泉学生会館にバリケードを構築したてこもった。このような状態が午後1時30分頃までつづいたが大学の警告もあつてのことか武装のまま校外へ退出した。また同日生田校舎へは戦旗派とみられる学生20数名が押しかけ学館運営委員会室、生協倉庫を破壊し、そこにいあわせた者に対して重傷を負わせた。さらに午後5時20分頃より約15分間生田学生会館においてはバリケードを構築してたてこもった情況派とみられる学生と校舎裏の三田団地方面から学館前に集結した戦旗派とみられる学生との間で投石行為が行なわれた。

また、1月18日(火)午後1時8分頃戦旗派とおぼしき者約20名が生田校舎の学館運営委員会室や生協倉庫を破壊した。

周知のように生協は教職員・学生の生活を守るための施設であり大学は明治大学生協の設立趣旨に賛同し大学の施設の無償貸与など各種の便宜を提供している。しかるにこの運営をめぐってこのような暴力行為や破壊行為が行なわれたことは生協精神を踏みにじり大学自治を内部から破壊する行為として厳しく糾弾されなければならない。大学は良識ある学生諸君の理解と協力を得てこれらの行為の根絶のために必要な処置をとるつもりである。

またこのいわゆる「内ゲバ」事件に生協の一部従業員が参加ししかも傷害事件を発生せしめたことはゆゆしい問題を含んでいる。大学はこのような行為を看過し得ないことを強調し、ここに嚴重なる反省を求めるものである。

最後に、生協関係機関が一日も早く生協本来の目的達成のために正常化され再び今回のような事件を発生させないために努力されることを期待する。

以上

